種ってな~に?種(実)を作って飛ばそう!

■プログラムの概要

ねらい	・種には色々な物があるが、みんな植物から出来ていて、生き物だということを知る。 ・風で飛んだり、回転する種(実)を紙で作って飛ばしたり、回転させて遊ぶ。		
キーワード	身近な自然		
対象	小学生全学年		
時間	45~50分	実施場所	教室、校庭など
使用するもの	折り紙、ハサミ、ゼムクリップ、サインペン 種(実)の写真(例:モミジ、アサガオ、ダイズ、ドングリ、マツ、ワタなど) 実物の種、珍しい種の写真(用意できれば)		
全体の流れ	〈導入〉 1.「たねかなクイズ」をする。8種類の実物の写真などを見せる。 2. 土に植えると、再び植物になることを写真などで見せて確認する。 〈紙種作り〉 3. 風で飛ぶ種(実)があることを伝え、モミジの種の模型を作って飛ばす。 4. 落下する時に、クルクル回る種(実)があるが、どうしたら回転するかを考え、フタバガキの種(実)の模型を回転させて遊ぶ。 5. ふりかえりシートに感想などを書いて発表する。		

■進め方

時間	学習内容	指導上の留意点
5分	<導入> 「たねかなクイズ」 実物の種(実)の写真を見ながら、種のクイズを行う。	ワークシートのクイズは 1. アサガオ、2. キキョウ、3. ダイズ、 4. ワタ、5. マツ、6. フタバガキ、 7. ドングリ、8. モミジ の8種類だが、作り変えてもよい。
10分	種は、どのように出来たかをアサガオなどの 栽培の経験から考え、種が生きていることを 知る。	・余裕があれば、ドングリ・ワタ・ダイズの栽培など、他の例を写真などで示してもよい。・クイズに出た種が実際に生えている場所や、種ができる時期を伝えられるとなおよい。
8分	< モミジの種の工作 > 「たねかなクイズ」の中の8種類の種(実)の中で飛ぶものは、どの種か考えてもらう。 その後、モミジの種(実)の模型を折り紙で作って飛ばす。 <作り方 > ・1 枚の折り紙の半分を図のように折ってクリップをつける。	 作り方の詳細は資料を参照のこと。 ・飛ばす前に名前を書いておくと取り違えがなくなる。 ・種が遠くに飛ぶのは、子孫を残すための戦略であることも示唆できるとよい。 モミジの種
10分	⟨フタバガキの種の工作⟩ 「たねかなクイズ」の中の8種類の種(実)の中で遠くに飛ぶだけでなく、回転しながら落ちる種(実)は、どれか考えてもらう。フタバガキの模型を残りの半分の折り紙で作り、回転させて遊ぶ。 〈作り方〉 ・折り紙のもう半分に十字に折り目を付ける。 ・真ん中に上半分だけ切れ目を入れる。 ・切れ目が無い方にクリップをつける。切った方を外側に開いて落とすと回転する。	 作り方の詳細は資料を参照のこと。 ・飛ばす前に名前を書いておくと取り違えがなくなる。 ・種が回転して飛ぶのは、子孫を残すための戦略であることも示唆できるとよい。 フタバガキの種

時間	学習内容	指導上の留意点
5分	「ふりかえりシート」に感想などを書いて発表	発表は時間がある限りでよい。
	する。	・実物の種や珍しい種の写真を用意できた場合
		は、この段階で見せると印象に残りやすい。

■使用するもの

物品名	数量	備考
折り紙	1人1枚	折り紙を半分に切った片方でモミジの種を作り、もう片方でフタバガキの種を作る。
はさみ	2人で1つくらい	
ゼムクリップ	一人2個	
種(実)の写真	一人1枚または全体 で1枚	

■実施にあたって留意する点

- ・このプログラムを実施する時期は、種のできる季節に行い、実物の種も見せられるとなおよい。 ※種の工作をしたフタバガキは、板橋区立熱帯環境植物館で見ることができる。
- 時間に余裕がある場合には、校庭などで種探しを行ってもよい。
- たねかなクイズに、板橋区のシンボルとされている花(ニリンソウ)と木(ケヤキ)や、ムカゴなど の種と見間違えやすいものを加えてみるのもよい。